



YOKOHAMA ASAHI ROTARY CLUB WEEKLY

「ロータリーに輝きを」 Light Up Rotary

2014-15年度 RI会長/ゲイリーC.K.ホアン

RI.D2590ガバナー/大野 清一

横浜旭RC会長/増田嘉一郎

国際ロータリー第2590地区

横浜旭ロータリークラブ

事務所 横浜市旭区二俣川1-2 後藤ビル2F
TEL.045-365-3273
FAX.045-365-3132
Email:asahirc@titan.ocn.ne.jp
〒241-0821

例会場 二俣川相鉄ライフ4Fコミュニティサロン
例会日 毎週水曜日/12時30分~1時30分



2015年4月8日 第2193回例会 VOL. 46 No. 37

- 司 会 副SAA 二宮麻理子
- 開会点鐘 会 長 増田嘉一郎
- 齊 唱 我等の生業
SL 福村 正

■出席報告

会 員 数	34名	本日の出席数	25名
本日の出席率	86.21%	修正出席率	100%

■本日の欠席者

五十嵐、市川、太田（幸治）、松本

■他クラブ出席者

鈴木（横浜磯子RC）、佐藤（利明）（地区）

■ゲスト

石井香菜子様

（次年度地区奨学生応募希望者）

■会長報告

1) 4月8日は花祭りです。お釈迦様の誕生日です。灌仏会(かんぶつえ)、仏生会(ぶっしょうえ)といい、花祭りは、明治以降の名称です。古代からインドで行われてきた行事からのもので、日本でも仏教伝来の頃から行われております。各寺では、花で飾った小堂、花御堂(はなみどう)が作られ、金属製の幼仏像をその中にまつり、参拝者によって甘茶が誕生仏像にかけられます。甘茶を灌ぐ行事なので、灌仏会といい、花御堂は、釈迦が生まれたルンペン園の花園を表しています。

2) 本日配布の週報の最後の頁に理事役員会議事録が掲載されています。先週4月1日の理事役員会で、年会費を2万円値上げして28万円とすることが承認されました。今後も次年度以降も含めて、理事役員会は、経費削減のための対策を引き続き検討していくとの確認が付けられております。

今年度の2回に亘る会長エレクトフォーラムや1月の情報集会で、会員皆様にクラブ財政再建策を協議していただきました。情報集会の結果は、2つのグループが経費削減をまずやるというもので、1つのグループは会費値上げを先行するというもので、残った1つのグループは、経費削減と会費値上げを両方やるというものでした。

そこで2月4日の理事役員会で協議し、事務所移転対策ワーキング・グループを設置し、現事務所を解約して、移転先事務所を設けるべく動き出すことになりました。新事務所は会員の協力で簡単に見つかるか見えましたが、結局その話がだめになり、3月11日例会での会長報告では、二俣川駅から自転車5分位の場所で、机1つ、できたら本棚2個と複合機1台を置ける場所の情報をお願いしました。

ワーキング・グループ自体でも情報を集めるべく努力しましたが見つからず、3月18日

例会での会長報告では、この3年間の財政問題を今年度中に結論を出すためには、4月1日の理事役員会で移転先を決めるか、会費値上げを決めるかを決定することになることを申し上げたのです。その後も移転先について適当な情報はなく、他の経費削減方法としては、例会場の変更が提案されましたが、駅から距離があり、多くの会員の賛同を得られるかは疑問なため、時間をかけて会員の意見を聞いて進める必要があると判断されたのです。

そこで、理事役員会としては、今後も引き続き経費削減問題を検討していくものとし、次年度以降の予算編成に少しでも余裕を与えるべく、会費値上げを決めたものであります。理事役員会には、会長エレクト、副会長も出席しておりましたので、引き続き経費削減策を検討していくという確認を守っていってくれるものと信頼しております。今後は、細則改正に向けて手続を進めて参りますので、会員皆様のご理解とご協力をお願いします。

■幹事報告

1) 地区ガバナー事務所より、木曾御嶽山噴火災害への協力のお願いが届いております。

次週この通知文書と共に封筒を回すことにしますので、ご協力お願いいたします。

2) 例会変更のお知らせ

○神奈川東ロータリークラブ

日時 5月1日(金)休会

5月22日(金)→24日(日)移動例会

「春の家族会」

5月29日(金)夜間例会

6月26日(金)年度末夜間例会

○横浜たまロータリークラブ

日時 4月14日(火)→17日(金)移動例会

7クラブ合同例会

場所 新横浜国際ホテル

5月5日(火)→祝日休会

○横浜港北ロータリークラブ

日時 5月21日(木)夜間移動例会

点鐘 18:30 4クラブ合同例会

場所 新横浜グレイスホテル

日時 6月25日(木)年度末最終夜間例会

点鐘 18:30

場所 新横浜プリンスホテル

○大和ロータリークラブ

日時 4月14日(火)夜間移動例会

日時 5月5日(火)祭日休会

日時 5月19日(火)夜間移動例会

日時 6月9日(火)夜間移動例会

日時 6月23日(火)休会

■次年度理事会報告 新川会長エレクト
5頁参照

■ニコニコBOX(会員敬称略)

増田嘉一郎/少し早いとは思いますが、本日は今年度最後のクラブ協議会です。各委員会の今年度の活動に対し、積極的に皆様からのご意見、ご批判をお願いします。

漆原恵利子/①今日は「花の日」お釈迦様を身近に感じる日としたいものです。クラブ協議会よろしくお願ひいたします。②石井様ようこそ。

安藤 公一/クラブ協議会宜しくお願ひ致します。

田川 富男/増田期途中ですが、クラブ協議会にて活動報告をさせていただきます。

■クラブ協議会

◎会場監督/斎藤 善孝

計画書通り順調に進んでいます。会場設営もほぼ問題なく行われています。

◎出席委員会/北澤 正浩

出席委員会としてまず求められることとして例会の高い出席率維持でしたが、残念ながら100%を下回ってしまいました。ただし会員の皆様のご協力により依然として90%台の高い出席率を維持することが出来ました。また、メイクアップすることなく当クラブ例会の出席率を向上させる目標に対しましても、昨年度90%の当クラブの出席率に対し、今年度は現在までの集計ですが93%と向上致しました。会員皆様、様々なご都合がある中でご協力いただいた結果です。ありがとうございました。

◎会報委員会/杉山 雅彦

〈期初方針〉例会の再現をはかり、読みやすく、親しみのある紙面をモットーに、会員相互のコミュニケーション、情報交換、提供を強化、実行していきます。

〈活動報告〉会員皆様の協力で、速やかな原稿提出があり、期初に掲げた方針どおり、大変読みやすい会報が定期的に刊行されていると

思います。また、スピーディーな刊行に引続き大きな貢献をなさって頂いている五十嵐会員には、この場をお借りしてお礼を申し上げたいと思います。ありがとうございます。引続き、会報委員会では会報の充実を目指して参りますので、引続き皆様のご協力を宜しくお願い申し上げます。

◎雑誌委員会／五十嵐 正

①入会の若い会員に「ロータリーの友」に早く親しんでもらう為、毎月交代で雑誌紹介をお願いする件、順調に実施しました。

②地域に友を定期的に配布する箇所は、現在横浜信用金庫鶴ヶ峰支店、神奈川銀行洪福寺支店、東京三菱UFJ銀行二俣川支店の3ヵ所にて協力を頂いております。

③雑誌月間卓話として、「サイバー犯罪の実態」として、元神奈川県警サイバーテロ指導官の石塚氏のお願いしました。

◎増強分類委員会／後藤 英則

3月25日に開催した体験例会も盛況に終わり、入会候補者へ積極的にアプローチしております。また、旭ロータリーを退会しました元会員に対しても再入会を勧めており、1名は会員選考委員会による承認待ちの状態です。今年度末までには新たに2～3名の入会が期待できそうです。

◎会員選考委員会／岡田、安藤、吉野、二宮

7月2日 桜田 裕子様（横浜港南 RC より）
佐藤 利明様（横浜鶴峰 RC より）
太田 幸治様（横浜鶴峰 RC より）
秋内 繁様（福岡南 RC より）

4名の入会がありました事、ご報告申し上げます。

◎研修・情報・広報・IT委員会／関口 友宏

1) クラブ研修会

27.3.11 謝朋殿

新会員3名 会長・幹事同席。

入会目的・感想・ロータリーの魅力等、忌憚の無い意見交換を行った。

2) 地区研修会

26.7.17 クラブ研修リーダー会議

ソシア21にて

27.2.22 ロータリーセミナー

聖光学院中・高等学校にて

出席義務者：会長・幹事・研修委員長・新会員

3) ロータリー情報（5分間情報）

7月 岩沼ロータリークラブ
8月 ロータリーとライオンズ
9月 決議 23-34
10月 出席
11月 クラブ財政
12月 クラブ創立10周年誌から
1月 四つのテスト
2月 —————
3月 ロータリー犬物語

4) ロータリー要覧改定配布

5) 広報

・26.10.19 鶴ヶ峰公園にて
第25回旭ふれあい区民まつり
畠山重忠公生誕850年記念武者行列参加
・「新あさひ散歩」発刊広告協賛
・タウンニュース旭区版記事掲載
11/27号 旭区在住外国人親子もちつき大会
1/22号 ロックチャリティーコンサート

6) ホームページの維持更新

◎職業奉仕委員会／田川 富男

委員会としては、ご存じのとおり年間を通じての活動は有りませんでした。恒例の出張卓話を実施させて頂きました。10月に、県立旭高校の一年生を対象にクラブ会員8名及び一般企業の方々を含めて「職業講話」を実行しました。残りの期間は、例会時の「職業卓話」において会員の仕事を知りたいと思っております。

◎社会奉仕委員会／福村 正

①旭区民まつりへの参加

平成26年10月19日に、区役所隣の公園にて開催された。今年は畠山重忠公生誕800年記念でもあり、甲冑行列が企画され、当会より有志が参加して頂いた。

イベント企画としては、バイオリン漫談家のマグナム小林さんに出演いただいた。

②第4回チャリティーコンサート

平成27年1月11日に旭公会堂にて開催。今年は9校が参加。旭ロータリーの有志と合わせ20バンドが出演。奉仕の精神に基くロータリーの活動への理解が深まっている。参加した学生達の理解は会を重ねる度に深まっている。3.11の記憶が風化することなく、若者の心に残り続けている。

前回から旭区の後援を頂いてきているが、今期は国際ロータリーの意義ある業績賞への推薦に続き、他クラブからも関心が寄せられるようになってきている。

資金面において多数の協力により、負担が軽減された。開催の継続も可能となっている。今後は、東日本大震災復興支援委員会とともに、岩沼 RC との協働を目指していく。

◎東日本大震災復興支援委員会／安藤 公一

1) 被災地幼児、児童への激励支援

地区補助金(約24万円)を活用し、岩沼市の3保育所・幼稚園総勢371名に対しクリスマスプレゼントを配布した。地区への報告書は1月提出済み。

2) 従来継続していた旭ふれあい区民まつりでの被災地産品の販売を見直し、より効果的な形での参加を検討。

甲冑行列の参加等の影響もあり、物販を取りやめ被災地写真を展示し寄付の募集に専念した。今後は保存のきく米の販売程度はやっても良いかもしれない。

3) 第4回チャリティーロックコンサートでの募金活動と被災地写真の展示

1月11日の募金は総額12.7万円を集めた。

4) 被災地支援活動を行っている他団体の活動内容を研究し、当クラブとしての新たな支援の形づくりを検討・着手。

「難民を助ける会」坪井氏に卓話をお願いし、国際的な組織が東日本大震災被災者に対しどのような支援活動を実施したかを学習した。

今後も岩沼 RC との連携・関係維持に努め、更に効果的な支援を模索していく。

◎国際奉仕委員会／青木 邦弘

今年度の計画として、クラブ独自の国際奉仕活動の道筋をつけるように努力してまいります。

上記を目標として、一年活動してまいりました。活動内容は下記の通りです。

1) 餅つき会の開催

目的は旭区在住外国人の小学生親子との親善を目的とした「餅つき会」を11月9日開催しました。外国人親子約30人とロータリアンとご家族、ボーイスカウト、ガールスカウト約30人合計60人以上方々のご参加をい

ただきました。次年度ぜひ継続いただければと思います。

2) 難民支援 NGO への支援

卓話をいただき、皆様のご協力により6万円の寄付と書き損じはがき120枚を送りました。

3) 国際奉仕フォーラムの開催

2月の国際奉仕月間において、イスラエルとパレスチナ支援 NGO 代表の卓話をいただき、皆様のご協力により58,000円の寄付をすることが出来ました。

国際奉仕委員会としての反省は「参加ロータリアンが親睦と奉仕をして、感動を自ら得るプログラムを企画する」事が重要と思います。

◎ロータリー財団委員会／安藤 公一

1) ポリオプラス(ポリオ撲滅)寄付は、一人5,000円を目標とします。

11月に寄付を募り、16万円(32名)となった。

2) 年次基金(年次寄付)は一人120ドルを目標とします。

10月に集金を開始し、ほぼ目標値を達成。同月末に地区へ送金。

3) 恒久基金(ベネファクター)は1~2名を目標とします。

合計3名の方々よりご協力頂いた。

4) 地区補助金による奨学生 DG(高橋淳氏の送り出し側のホストクラブ、カウンセラーは新川氏)のケア

高橋氏は無事現地に到着。現在就学中

5) 本年も地区奨学生への応募があり、当クラブ推薦の朝倉春菜氏が地区の選考に受かり現在留学先への受験準備中。安藤がカウンセラーとなる。

6) ロータリー財団月間に「未来の夢計画」特に地区補助金の話を経営委員長にお越し頂き卓話を実施。

そのお蔭で会員の理解は確実に深まった。今後も更なる理解を深めるため勉強会(卓話)を設定していきたい。

◎米山記念奨学委員会／今野 丁三

1) 行事等

8月19日

クラブ米山記念奨学委員長会議

地区活動方針

米山奨学生の選考

豆辞典等の有効活用について

9月18日

米山月間の卓話者（米山奨学生）、地区の担当者（学友委員、川崎中 RC 長戸隆彦）をまじえ事前打合せ

10月1日

卓話「留学体験」「サクソフォン演奏」
付添 川崎高津南 RC 大友憲子
（前年度米山委員長）
卓話者 クオン・ジェー・バオー（女性）
シンガポール出身、洗足学園音楽大学、
サクソフォン専攻4年他3名

10月4日

米山奨学生学友会の総会に参加

2) 米山記念奨学会への寄付について
(H27.3.31 現在)

クラブ会計より 167,500 円
会 員より 430,000 円
計 597,500 円

◎防災WG／五十嵐 正

横浜旭ロータリークラブとして防災対策の具体的方法をWGのテーマとし、以下の3項目を計画しました。

①クラブ内緊急連絡網整備

②岩沼 RC との災害時相互支援協定の締結

③防災マニュアルの整備

①の緊急連絡網整備について、当初 SNS を利用した連絡網整備を目指した処、会員個々の携帯電話の種別、習得度の温度差により、今の処整備に至っておりません。

②の岩沼 RC との災害時相互支援協定の骨子がまとまり、6月の合同親睦会において締結を目指しております。協定の内容については6ページの通りです。

③防災マニュアルの整備については、現在整理中ですが、大筋では、会員だけでなく、一般の方にも利用できるような携帯型のマニュアルが望ましいのではないかと岩沼 RC とも一致した意見です。今期中に完成配布を目指しております。

■次週の卓話

4/22(水)

吉原会員

「ぶらりとヨコハマ五七五」

週報担当 杉山 雅彦

2015~2016年度 横浜旭ロータリークラブ 第四回 理事（役員）会議事録		
日時	平成27年4月1日(水) 18時30分より	出席者 新川尚 関口友宏 五十嵐正 福村正 安藤公一 市川慎二 欠席者
場所	クラブ事務所	青木邦弘 佐藤真吾 増田嘉一郎 太田勝典 二宮麻理子 田川富男
【報告事項】 会長エレクト研修セミナー報告		
① 次年度2590地区	.箕田敏彦ガバナー 第5グループ一樂祥子ガバナー補佐（横浜あざみRC）地区方針別紙	
② 次年度主要行事	ガバナー公式訪問（8/5）地区大会（11/13-14）IM（2/27） 2週前の7/22 ガバナー補佐来訪クラブ協議会	
【審議事項】		
1 移動例会について	クリスマス、最終例会とする。	承認
2 クラブ予算の考え方について	各委員会からの報告後に理事会で諮る。	承認
3 体験例会について	増強委員会とプログラム委員会が共同して企画、立案し、理事会でも支援していく。 開催の目処として、第一回目9月後半～10月 第二回目3月～4月とする。	承認
4 次年度会長方針（案）	親睦とロータリーの理解	承認
5 その他	1 地区補助金対象プロジェクトとして、地元高校生を東日本大震災被災地見学を開催したい。 2 第五回理事（役員）会は5月13日（水）を予定	承認

横浜旭ロータリークラブ・岩沼ロータリークラブ

災害時相互支援協定（案）

国際ロータリー第2590地区横浜旭ロータリークラブと国際ロータリー第2520地区岩沼ロータリークラブ（以下、この2つのクラブを指して「両クラブ」という。）は、本日災害時相互支援協定（以下「本協定」という。）を締結する。

1 【目的】

本協定は、両クラブ間相互の災害に備えた活動、及び災害時の円滑な応援・受援活動を明確にし、災害時に地域社会への迅速で効果的な支援に寄与することを目的とする。

2 【活動理念】

- (1)ロータリーの目的達成のために、両クラブは、担当委員会を設置し、互いに支援する。
- (2)被災地行政と連携を取りながら支援する。
- (3)ロータリーの組織力を最大限に生かす。
- (4)活動の規範はロータリー「四つのテスト」に置く。

3 【相互扶助条項】

災害時に被災したクラブ（以下「クラブA」という。）は、地域支援活動が著しく制限を受け、活動の一時停止を余儀なくされることが想定される。

他方のクラブ（以下「クラブB」という。）は、一時的にクラブAに代わって情報収集を行い、出来る範囲で、迅速で効果的な支援を行うものとする。

4 【発動時期】

前項の相互扶助条項は、災害速報報道をもとに、クラブBの会長、幹事と第2項(1)の担当委員長の協議で発動するものとし、クラブAはその判断を尊重する。

5 【発動期間】

第3項の相互扶助条項の発動期間は、クラブAがその機能を回復し、現地対策本部を立ち上げるまでとし、以後クラブBはクラブAの現地対策本部のサポートに努める。

6 【平時の活動】

- (1)両クラブは、互いに会員連絡先情報を事務局が共有し有事に備える。
- (2)両クラブの担当委員会は、災害時により効果的な地域支援を行うために、災害対策マニュアルの整備を協同で行い、有事に備える。

平成 年 月 日

国際ロータリー第2590地区
横浜旭ロータリークラブ

会長

国際ロータリー第2520地区
岩沼ロータリークラブ

会長
